

指定管理者が行う業務及び管理の実施基準

資料 6 - 2

道保川公園

1 道保川公園管理に関する仕様書「3(2)・(3)・(4)運営業務」関連

本表に掲げる頻度については、最低限とする。

業 務 の 内 容				頻 度 等			
大分類		概 要		小分類	数量・範囲	頻度	備考
公園全般の供用時間	ア	管理事務所	8時30分～17時15分				休所日等なし
	イ	道保川公園のうち市長が別に定める区域及び駐車場	7時～18時(4月～9月) 8時～17時(10月及び3月) 8時～16時(11月～2月)				休所日等なし
公園全般の運営	ア	平等利用の確保	利用者の平等・公平を図る。				
	イ	職員体制の確立	道保川公園を統括する責任者を配置する。また、事務所には業務に支障のないよう、原則常時1名以上の施設全般を把握している職員(施設長又は事務員)を配置し、運営にあたる。ただし、日曜日及び土曜日並びに国民の祝日に関する法律に定める祝日は原則2名以上配置する。				
	ウ	利用者等のニーズの把握	施設管理や事業等、質の高いサービスを提供出来るように利用者等のニーズを的確に把握する。	利用者満足度調査		2回/年	利用者等のニーズを把握し、モニタリング等の結果も踏まえ、施設運営に反映させること。ニーズを反映させることを目的に具体的な調査を行うこと。
				利用者ニーズの把握		随時	
	エ	要望・苦情対応	迅速な対応を取り適正に処理を行う。				苦情等への対応マニュアルを作成するなど適切な対応ができる体制を整えること 利用者からの要望を管理運営に反映しやすい体制を整えること
	オ	公園の特色を生かしたイベントの開催	特色ある公園づくりを図るため、公園の魅力を生かした管理者の創意工夫あるイベントを開催する。	緑化イベント		1回/年	アジサイフェア(他公園実施例)
				施設活性化及び地域活性化イベント		1回/年	地域との協働イベント等(参考例)
	カ	ホタルの鑑賞イベント	ホタル鑑賞のための開館時間の延長をするとともに固体に影響がないように鑑賞できるイベントを開催する	開園時間の延長	6月	1回/年	例年2週間～1カ月程度の期間開催(参考例)

キ	情報提供・広報	窓口に施設のパンフレットなどを配架し、施設情報の発信を図る。また、施設の記録用として、イベント時の様子や風景等を撮影し、保持すること。イベント告知や施設のPRをSNS等様々な媒体を使い、広く発信し、来園者の増加をはかること。				施設案内用パンフレットを作成すること。
						季節ごとの風景（様子）やイベント時の様子を撮影し、施設記録用や広報等提供用に残しておくこと。依頼があった際には提供できるようにすること。
ク	研修の実施	職員の育成及び運営に必要な研修を実施し、常にスキルアップを図る。				
ケ	園内の巡回	園内を巡回し、施設の異常個所の発見や、不適切な利用（鳥や魚へのエサやり、犬（介護犬を除く）などの動物を連れての入園、虫や草花等の採取）を行っている者への指導を行う。	園内巡回		随時	不適切利用者等への指導（対応）記録を作成すること。 道保川公園では、生態系の維持等のため、鳥や魚その他の動物へのエサやり、犬などの動物を連れての入園（介護犬を除く）、虫や草花等の採取を禁止しています。
コ	駐車場・駐輪場の整理	不適正駐車や公園周辺道路への違法駐車対策及びイベント等混雑時における駐車場等の整理を行う。 日常点検 駐車場の適正利用の推進や公園周辺道路への違法駐車対策。 放置自転車及び放置車両については、盗難届け及び防犯登録を所管の警察署に確認後報告すること。 放置自動車と確認できた場合は、速やかに対応	鍵施錠・開錠 違法駐車対策 放置自転車届出事務			
サ	行為の制限・禁止及び制限の解除に係る連絡調整	相模原市都市公園条例第3条及び第5条を良く理解し、禁止行為を見つけた際には注意を行うとともに、行為の制限については、必要に応じて手続き等の説明を行うとともに、行為の制限の解除に関する受付及び市との連絡調整を行う。				相模原市都市公園条例第3条に基づく行為の制限の解除に関する受付及び市との連絡調整を行うこと。
シ	利用の禁止・制限	相模原市都市公園第6条により、やむを得ないと認められる場合には、区域を定め、利用の禁止又は制限を行う。				
ス	業務報告・連絡調整	日々の管理日誌の作成及び利用状況等の報告資料の作成。 業務処理状況の記録及び毎月の報告書の提出。 事故・災害等緊急事態が発生した場合における迅速、適正な対応・処理及び報告を行う。 警報発令時における警戒配備態勢の設置。	管理日誌の作成		毎日	
			苦情対応や要望処理状況の記録と報告		随時	提出は月毎。不適切利用者への指導（対応）記録を添付すること。
			事故・災害時の対応		随時	
			急病・犯罪等の事故報告		随時	
			自然災害時の警戒配備態勢等		随時	

	セ	夜間警備の実施	公園施設の各種財物類の火災、盗難、破壊の予防、拡大防止を図るとともに、不法行為者の発見、排除並びに保安警備の遂行にあたり、夜間警備を実施すること。	報告書の提出		毎日	
	ソ	利用者のサービスの増進	公園利用者の利便性の向上のための便益施設などを設置することができる。ただし、別途、指定管理者には、設置に係る市への許可申請及び許可に伴う使用料の負担が必要。				自動販売機等 (現在は景観を損ねる等から設置していないが、夏など来園者の熱中症対策等の意味合いも含め、設置場所にもよるが設置検討できる)
提 案	ア	自然環境や緑化意識の啓発方策	施設や地域の活性化を図るため、指定管理者の独自性のある創意工夫を凝らした事業を提案することができる。なお、事業の実施に関する提案については、実施回数及び規模についても提案すること。 施設の運営の中で生じた提案については、市に対して提案することができる。 ボランティアの拡充のため、連携や協力した事業を行うことができる。 指定管理者の判断により、公園の設置目的にのっとった事業（教室）を行うことができる。 予算を伴う提案については、市の予算編成スケジュールにのっとり行うこと。				
	イ	ボランティアや地域団体等との連携・協働					
	ウ	事業の実施・利用促進方策					施設や地域の活性化に資する事業の実施については積極的に提案すること。
	エ	施設の供用時間の変更					上記の供用時間を基本とするが、変更等の際は市と協議のうえ、決定すること。
	オ	その他公園の運営に関する事項					

2 相模原麻溝公園管理に関する仕様書「3(5)・(6)・(7)維持管理業務」関連

業務の内容				頻度等			
大分類		概要	小分類	数量・範囲	頻度	備考	
清掃・点検等施設の維持管理	ア	管理事務所の管理	施設や設備を常に正常に保持し、適正な利用に供するように随時点検を行い、必要に応じて補修や修繕を行うこと。 点検や修繕の際には、利用者の安全確保を行うこと。 電気掃除機等を使用し、利用者が訪れる場所は電気掃除機を毎日かけ、埃などが溜まらないようにすること。 定期清掃では、窓ガラスの清掃、床のワックスかけ、照明、ブラインドの清掃も行うこと。 自動体外式除細動器（AED）を配備すること。	点検	1箇所	随時	1階建：1棟 25.92㎡（作業室・倉庫含む）
			鍵施錠・開錠	毎日			
			日常清掃	毎日			
			定期清掃	2回/年			
			自動体外式除細動器（AED）の配備	1台			
	イ	トイレの管理	便器、床、洗面台に汚れや垢等が残らないようにすること。また、臭気も残らないようにすること。 トイレットペーパー、防臭剤、水石鹸等の衛生材料は欠かすことがないように補充を行うこと。	点検	2箇所	1回/日	屋外：2箇所 （水洗便所及びバリアフリートイレ）
				鍵施錠・開錠		毎日	
				清掃		毎日	
				ペーパー交換		随時	
	ウ	水飲み場の管理	常に衛生的に保たれるようする。	清掃・点検	2箇所	毎日	
		手洗場の管理			2箇所		
	エ	園路・広場等園内の管理	施設や設備を常に正常に保持し、適正な利用に供するように随時点検を行い、必要に応じて補修や修繕を行うこと。 点検や修繕の際には、利用者の安全確保を行うこと。 園内のゴミ拾いを行うこと。その際に落葉等も清掃すること。 落葉等については、随時掃き集める（清掃を行う）こと。 不法投棄が発見された場合、市に報告し、指定管理者により適法な処理を行うこと。	点検	全体 7ha	随時	街美化アダプト制度により、地元老人会が月1回以上の清掃を行っている。
				園内清掃		毎日	
	オ	木道の管理	日常的な点検を行い、施設の修繕を行うこと。 ゴミを拾い、回収する。また、落葉等は、箒を使用し木道の清掃を行い、利用者の転倒を防ぐ。	清掃		随時	
				点検		随時	
				木道破損箇所の補修		随時	
	カ	ベンチ・野外卓・東屋の管理	施設は正常に保持し、適正な利用に供するよう日常的な点検を行い、必要に応じた部品交換や施設の補修・修繕を行うこと。	点検・修繕	43基	随時	ベンチ：34基 野外卓：8基 東屋：1基
	キ	遊戯施設の管理	遊具については、「都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改定第2版）」（平成26年6月国土交通省）及び「遊具の安全に関する基準」（2014年6月 一般社団法人日本公園施設業協会）に基づき点検を行い、必要に応じて修繕を行うこと。 砂場については、定期的な耕耘及び砂補充を行い、犬・猫糞尿対策を講じること。	点検・清掃	2基	随時	複合遊具、独立遊具
	ク	樹・排水溝の管理	側溝・集水樹・浸透樹等の性能を回復するため、溜まったゴミや土砂等は取除く。落葉期間に外周道路の落ち葉を清掃する。 なお、集水樹等の浚渫を行う際には、土砂等の空間放射線量の測定を行い、市の指示に応じて処理を行うこと。	点検	一式	4回/年	
				清掃		随時	

清掃・点検等施設の維持管理	ケ	池・小川の管理	池、小川の点検・清掃を行い、常に良好な状態を確保する。 水面の浮遊ゴミ及び水中のゴミを網等を使用して集めること。 定期清掃を行い良好な状態が確保できるよう管理する。	点検		随時	
				日常清掃		随時	
	コ	駐車場・駐輪場の管理	日常点検・清掃及び利用者整理等。	日常点検		毎日	
				日常清掃		毎日	
				除草		随時	
	サ	保守点検	関係法令の基準に基づき法定・定期・日常点検等常に状況を把握し作業にあたること。 時計については、毎日時報等で確認し、正確性を保つこと。	消火器の点検	2本	適宜	
樹木等の育成管理				時計台	1基	随時	
				ポンプの点検	6基	1回/年	井戸ポンプ及び制御盤6基
				受水槽設備点検		随時	必要に応じて適宜実施
	シ	作業用具等の管理	用具入れや倉庫等は常に必要な手入れを施し、整理整頓をする。			随時	
	ス	自動販売機の管理	園内に設置された自動販売機等の管理等。緊急時は連絡調整等の対応をすること。			随時	(設置した場合)
樹木等の育成管理	ア	樹木の管理	倒木等で公園利用者の安全が脅かされないようにするため、高木・中木の剪定、伐採や頭詰めについては、「公園樹木等維持管理計画」に基づき、年度ごとの計画を策定し、それに基づき計画的に実行していくこと。 剪定等については、針葉樹の場合は萌芽力を損なわないように芽摘みを行い、花木類の場合は、花芽分化の時期に注意すること。 枯枝、折枝、建築限界を侵して人や車に接触するおそれのある低い枝（危険枝）、公園利用者等の視界を妨げる枝（支障枝）、病害虫に侵され、治療や駆除ができない枝（病虫害枝）等については、年度計画問わず、その危険度合いにより、出来るだけ速やかに対応をすること。 植栽については、定期的に刈り込みを行うこと。 害虫等が発生した際に散布する薬剤は、農薬取締法上で人畜無害及び魚毒性の低いもので、腐食性・引火爆発性のない安全性が高いものを使用し、関係法令に従って実施すること。	剪定（高木）	約200本	随時	管理上の支障枝について適宜実施
				剪定（中木）	約450本	随時	刈込を含めて、適宜実施
				刈込(低木・生垣)	約500㎡	随時	
				枯損木の撤去		随時	
				病害虫防除		随時	
	イ	木道の管理	日常的な点検を行い、施設の修繕を行うこと。 ゴミを拾い、回収する。また、落葉等は、箒を使用し木道の清掃を行い、利用者の転倒を防ぐ。	清掃		随時	
				点検		随時	
				木道破損箇所の補修		随時	
	ウ	芝生地の管理	散水は、芝の生育、気象等に留意し十分な灌水を行うこと。（散水の時間は、早朝又は夕方とする）施肥については、肥料法に基づく登録証明書、成分表の写しを添付し指定量を均一に撒くこと。除草については、周辺植栽植物を傷めないよう丁寧に雑草だけ根より抜き取ること。	芝刈り	1,500㎡	3回/年	上段広場
				除草	1,500㎡	随時	
	エ	その他園内の管理	フォーク等を用い人力で根ごと除去。機械を使用する場合は肩掛式とする。樹木や施設の損傷に注意しつつ、刈り残しやムラのないよう均一に刈り込み、つる性雑草も除去する。 発生材は園内処理の場合、毎日所定の箇所に集積し、刈り後は園路等に散乱した草の清掃等を行う。	機械除草		3回/年	機械により行う際は複数人で作業をし、1人は必ずシートや板等で養生し、小石の跳ね飛ばし等による被害がないようにすること。
				人力除草		3回/年	

その他	ア	ホタルの生息環境への配慮等	公園内に自生しているホタルの数が維持できるように、ホタルの生息しやすい環境への配慮及び創造に努めること。				各種団体等と連携するなど、生育環境保全に努めること
	イ	野鳥の生息環境への配慮等	公園内に飛来する鳥の住環境等に配慮し、下草の刈り込み等は十分に気をつけるとともに野鳥が生息しやすい環境への配慮及び創造に努めること。				各種団体等と連携するなど、生育環境保全に努めること